

2017年7月13日

報道関係各位

三菱地所株式会社

シンガポールでの大規模複合再開発事業 「Golden Shoe Car Park 再開発プロジェクト」に参画

三菱地所株式会社は、シンガポールに拠点を置くアジア最大規模の不動産会社 CapitaLand Limited (キャピタランド、以下 CapitaLand) および同社グループが運用するシンガポール証券取引所上場 REIT である CapitaLand Commercial Trust (キャピタランド コマーシャル トラスト、以下 CCT) と共同で、シンガポール中心部における大規模複合再開発事業「Golden Shoe Car Park (ゴールデン シュー カーパーク) 再開発プロジェクト」に参画することに合意しましたのでお知らせします。

【本プロジェクトの特徴】

- ・地上 51 階・建物高さ約 280m の超高層ビルの開発
- ・オフィス、サービスアパートメント、商業、ホーカー (シンガポールの食堂屋台街が再入居)、駐車場の機能を含む複合開発
- ・総事業費約 1,450 億円の大規模複合再開発プロジェクト

本プロジェクトは、CCT が所有しているシンガポール中心部の約 6,100 m² の敷地 (既存のビルは主に駐車場およびホーカーとして利用されている) に、オフィス・サービスアパートメント・商業・ホーカー・駐車場の機能が入る高さ約 280m のビルを建設するものです。

三菱地所としては、シンガポールではキャピタランドグループとともにオフィスビル「CapitaGreen (キャピタグリーン)」の開発実績がありますが、大規模複合再開発事業は今回が初めてとなります。

三菱地所グループは、現在アジア・オセアニア地域 9 ヶ国で不動産事業を展開しています。今後も世界各国で培ってきた不動産開発ノウハウ・商品企画力を活用し、積極的にアジア・オセアニア地域での不動産事業を進めて参ります。



建物外観完成イメージ

■プロジェクト概要

事業シェア： CapitaLand 45%、CCT 45%、三菱地所 10%

総事業費： 約 18 億シンガポールドル（約 1,450 億円）

所在地： 50 Market Street, Singapore

交通： MRT（地下鉄）North-South Line/East-West Line ラッフルズプレイス駅 至近

敷地面積： 約 6,100 m²

延床面積： 約 93,400 m²

建物規模： 地上 51 階建て／地上約 280m

竣工： 2021 年上半期（予定）

■完成イメージ



■既存ビル



■周辺地図



■各社概要

●キャピタランド



- ・シンガポールの上場会社であり、アジア最大規模の不動産会社の一つ。シンガポールに本社を置き、成長するアジアの主要都市を中心に、不動産、不動産金融サービスを主要事業として展開しています。
- ・資産のポートフォリオ（住宅、オフィス、ショッピングモール、サービスアパートメントなど）は30カ国以上、140以上の都市に及び、資産規模は約780億シンガポールドルにのびます。また、その資産基盤と専門知識、及びシンガポールをはじめとしたアジアにおける、不動産金融商品・サービスを開発するための幅広いマーケットネットワークを強みとしています。
- ・三菱地所グループとは、日本では「パークハウス代々木上原」、「新宿フロントタワー」、「ザ・パークハウス 新宿タワー」や「ザ・パークハウス 西麻布レジデンス」等、シンガポールでもオフィスビル「CapitaGreen」のほか、集合住宅「Sky Habitat」、「Sky Vue」での共同事業の実績があります。
- ・グループ会社にサービスアパートメント運営事業を行うアスコット社があり、東京・丸の内にある2017年1月竣工の「大手町パークビル」に同社の最上級ブランド「アスコット」が日本初出店を行っています。

●キャピタランド コマーシャル トラスト



- ・キャピタランド コマーシャル トラスト（以下 CCT）はシンガポール初の上場オフィス REIT で、その時価総額は約50億シンガポールドルです。CCTは、収益を生み出す商業用不動産又は不動産関連資産を対象として所有・投資しています。総資産額は87億シンガポールドルに達し、シンガポールの10棟の優良物件とマレーシアにおける投資物件でポートフォリオを構成しています（2017年3月末時点）。